○近年の自然災害の発生や原子力発電所に近いということからみると、市民全体の安全安心を第一とした最重要防災拠点施設の建設は理解できるものである。

反対討論の主な内容

○入札参加資格に高い評定値を設定し、大手建設事業者の参入を基本とした入札方式にしたことは、市として地元業者の育成や雇用拡大の姿勢が見えない。地元建設業者参入への配慮がないといえる。

○今回の一般競争入札は、１社応札のみで競争原理が働いていないと考える。地場産業の振興を図るべく指名競争入札にすべきではなかったか。

○高い耐震性能の施設を建設することは、これまでの機能に加えて避難スペースや防災備蓄倉庫、非常用発電設備なども必要となる。他の建設事例と比較しても市民１人当たりの負担は２倍、３倍となっている。本市の財政状況や市民への負担を考えれば受け入れがたい。身の丈に合った消防庁舎建設にすべきではないか。

特別委員会の動き

西九州自動車道整備促進特別委員会

伊万里市において８月５日、伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会総会が開催され、西九州自動車道の早期完成に向けた平成26年度の活動計画等を決定するとともに、「道路整備予算の確保等に関する決議」を全会一致で採択し、政府及び関係機関へ決議文が送付されました。

８月26日、同協議会の活動計画に基づき長崎河川国道事務所長及び佐賀国道事務所長に対し、唐津伊万里道路、伊万里道路、伊万里松浦道路、松浦佐々道路の事業促進と早期完成及び道路整備予算の安定的な財源確保を要望いたしました。

両国道事務所長からは、現在工事中の北波多インターから谷口インター（仮称）までの間と山代インター（仮称）から今福インター（仮称）まで間について、８月の長雨の影響で工事を計画通り進めることができなかったとのことですが、本年度開通に向けて急ピッチで取り組んでいるとの説明がありました。

また、本年度事業化が決定した松浦佐々道路についても、測量・地質調査に入る予定であるとの説明を受けました。

協議会総会

長崎河川国道事務所へ要望

佐賀国道事務所へ要望

決算審査特別委員会構成

平成26年９月18日設置

委員長　武辺鈴枝
副委員長　山口芳正
委員　山﨑誠也
川下高広
宮本啓史
久枝邦彦
吉冨武志
木原勇一